

領域別不公平感の 規定メカニズム再考

金井雅之(専修大学)

第59回数理社会学会大会
久留米大学, 2015/03/14
萌芽的セッション報告

(領域別)不公平感の 先行研究

- 個人の階層属性との関連の薄さ
(e.g. 海野・斎藤1990, 織田・阿部2000)
 - 自分自身の利害とは異なる視点からの社会体制全体に対する評価？
- 1995年から2005年までの10年間で, 階層性(特に所得)が若干高まる？(斎藤2011)

本研究の目的

- 領域別不公平感の測定の精緻化
 - 3段階や4段階ではなく11段階に
 - 主観的幸福感等の研究では標準的な流れ
- 「自己利害」の測定の工夫
 - 性別等の自分の属性が、これまでの人生において有利に働いたと思うか、不利に働いたと思うか

データ

- 「ライフスタイルと価値観に関する国際比較調査」
 - － 実施主体：専修大学 ソーシャル・ウェルビーイング研究センター
 - － 方法：登録モニターを対象とするウェブ調査（委託先：日経リサーチ）
 - － 実施時期：2015年2月18日～24日
 - － 回収サンプルサイズ：11,804ケース（回収目標数10,000）

対象者の割り付け方法

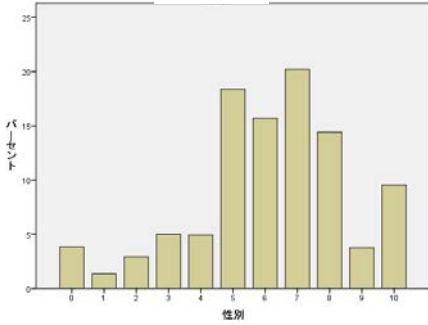
- 性別(2), 年代(5), 都市度(4), 地域(6)を掛け合わせた240カテゴリーごとに, 2010年国勢調査人口に比例させて回収

例) 男性

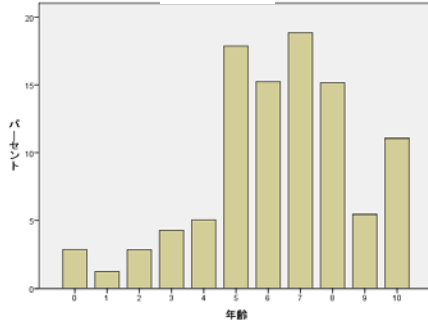
都市区分	地域区分	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳
政令指定都市	北海道・東北	22	26	23	22	22
	関東	133	176	159	120	128
	中部	31	41	38	34	37
	近畿	46	57	51	45	55
	中国・四国	12	17	15	13	15
	九州	18	21	18	18	18
市・20万以上	北海道・東北	17	24	22	24	24
	関東	73	97	88	73	84
	中部	37	50	45	41	46
	近畿	38	53	49	42	52
	中国・四国	18	24	21	22	25
	九州	24	30	27	30	28
市・20万未満	北海道・東北	33	44	42	51	50
	関東	92	121	112	106	118
	中部	67	94	86	84	95
	近畿	44	58	54	51	61
	中国・四国	29	40	36	43	48
	九州	35	44	42	53	50
郡部	北海道・東北	15	20	20	26	25
	関東	13	17	16	18	20
	中部	14	19	18	18	21
	近畿	7	9	8	9	11
	中国・四国	6	9	8	11	12
	九州	12	15	14	18	17

領域別不公平感

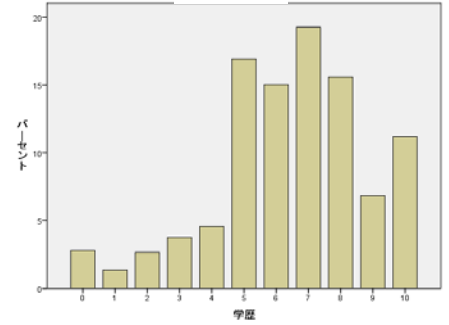
性別



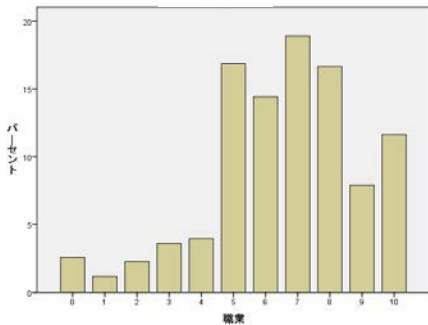
年齢



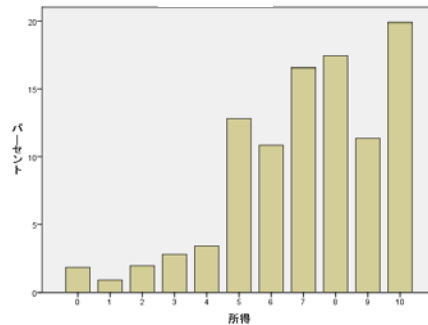
学歴



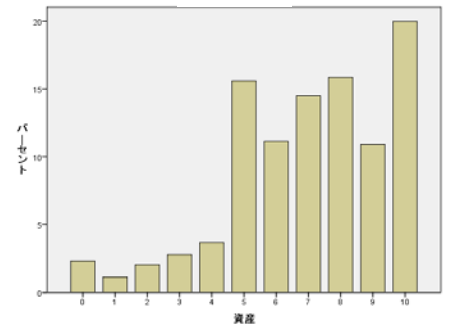
職業



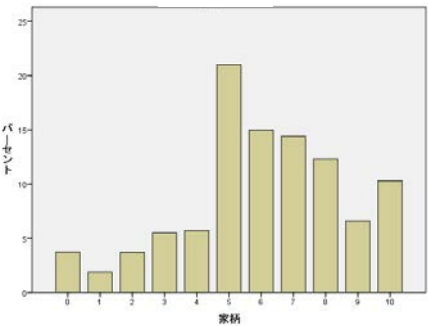
所得



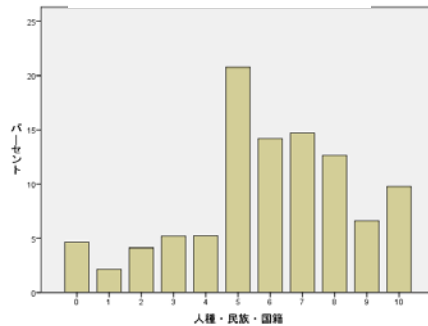
資産



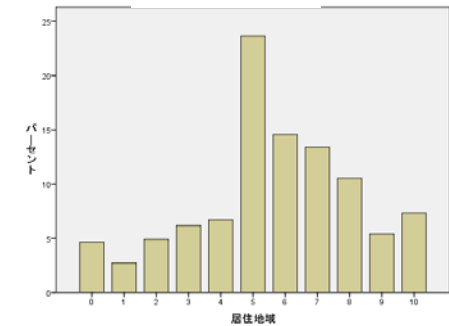
家柄



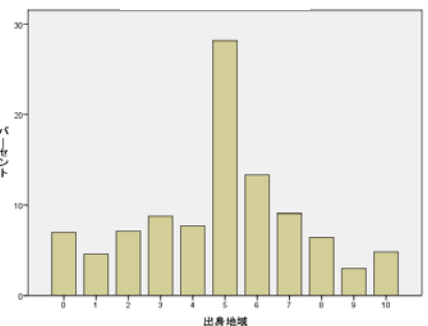
人種・民族・国籍



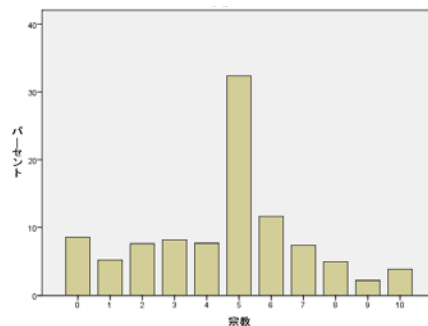
居住地域



出身地域



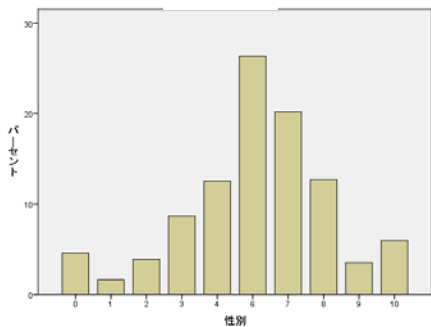
宗教



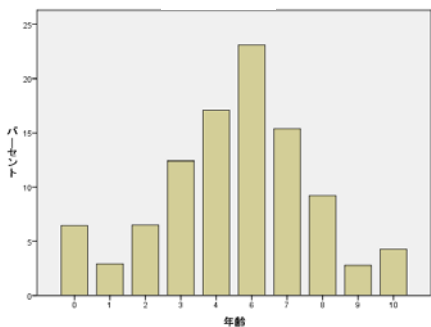
自分の人生での有利さ

(「5」は除いて比率算出)

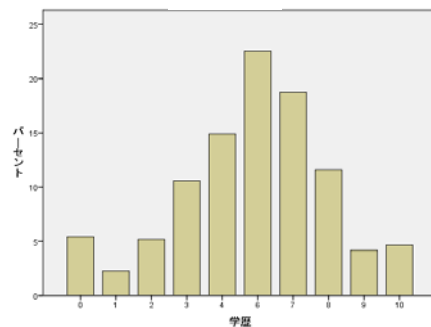
性別



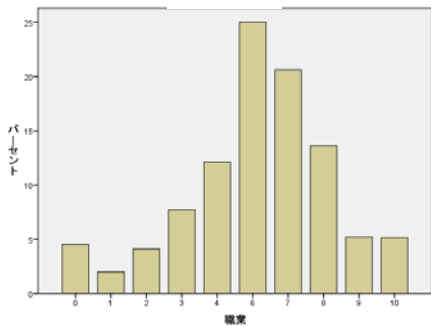
年齢



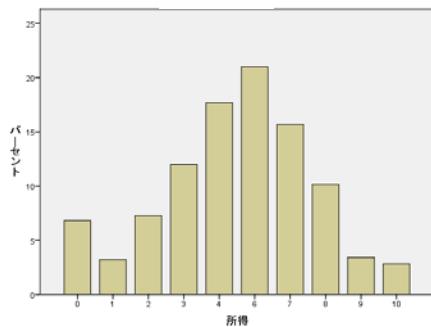
学歴



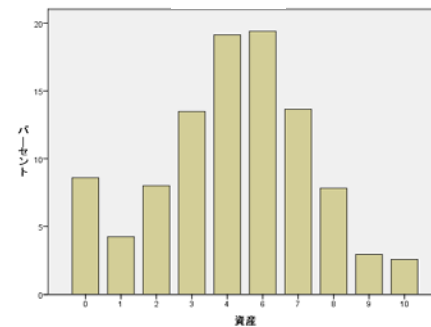
職業



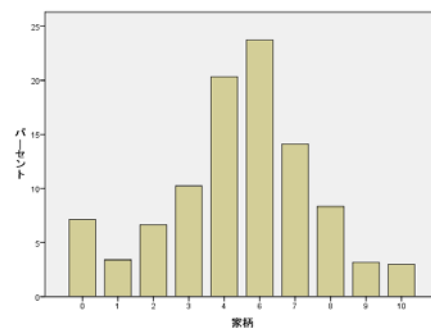
所得



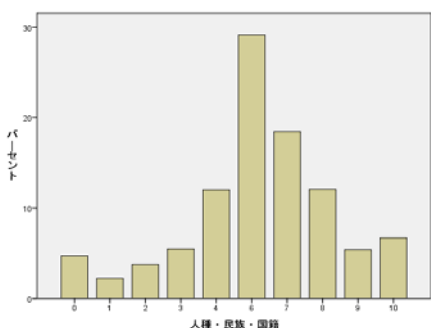
資産



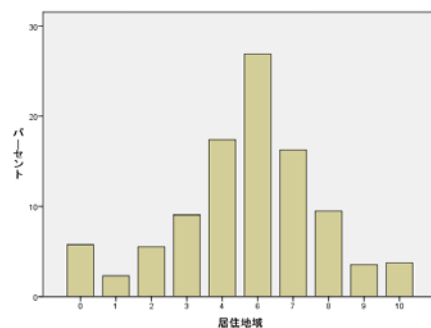
家柄



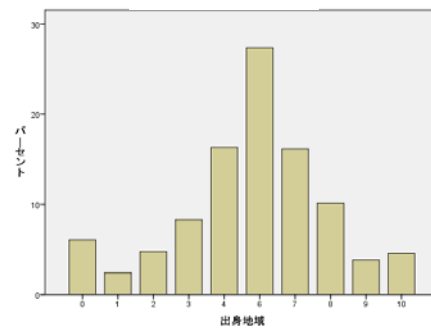
人種・民族・国籍



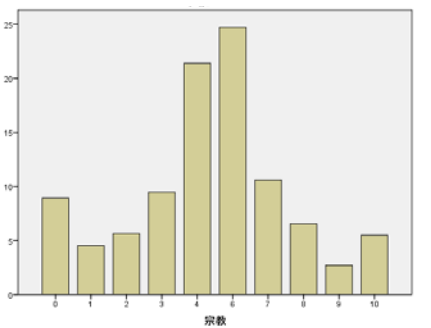
居住地域



出身地域

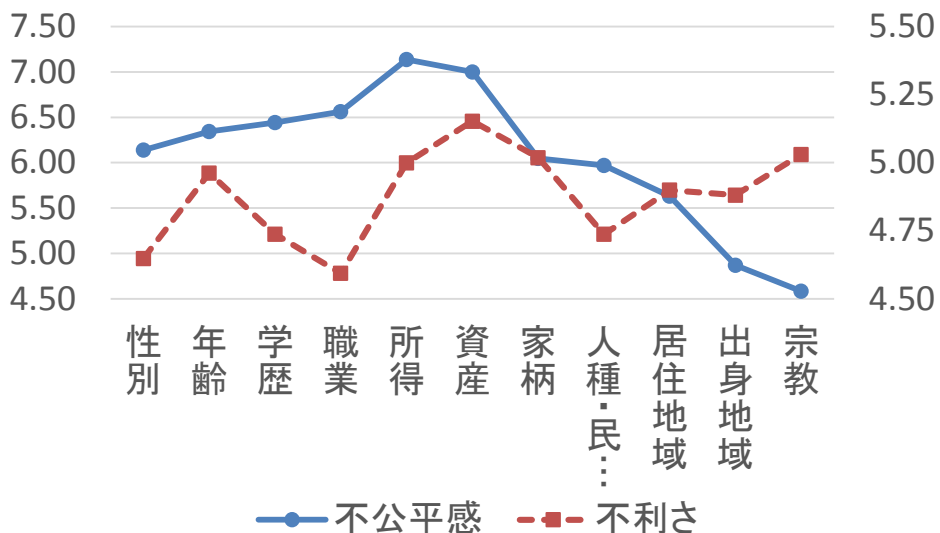


宗教



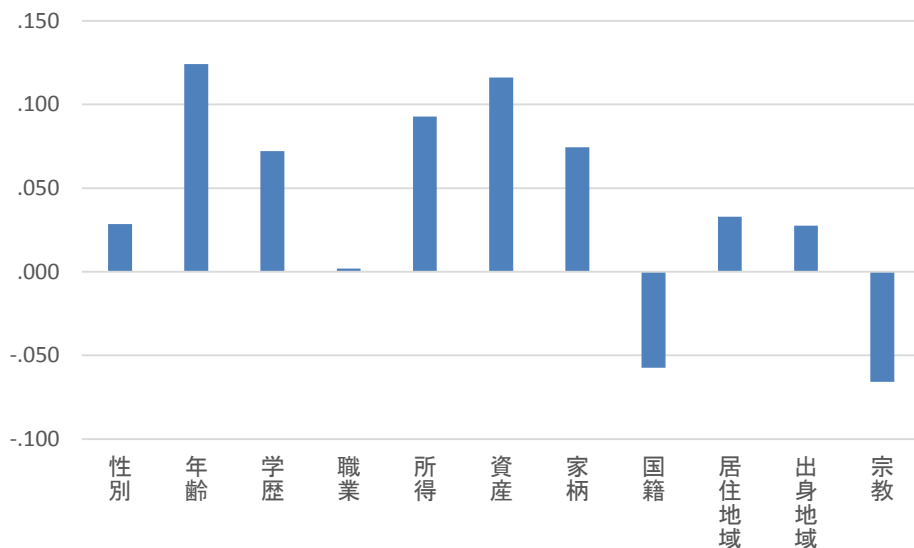
領域別不公平感／不利さ 各項目の平均値

項目	不公平感	不利さ
性別	6.14	4.65
年齢	6.34	4.96
学歴	6.44	4.74
職業	6.56	4.59
所得	7.14	5.00
資産	7.00	5.15
家柄	6.05	5.02
人種・民族・国籍	5.97	4.74
居住地域	5.63	4.90
出身地域	4.87	4.88
宗教	4.59	5.03



不公平感と不利さとの相関

	不公平感	性別	年齢	学歴	職業	所得	資産	家柄	国籍	居住地域	出身地域	宗教
不利さ	性別	.029	.023	-.022	-.033	-.035	-.033	-.014	-.036	-.008	.031	-.017
	年齢	.035	.124	.028	.032	.028	.027	.021	-.013	.024	.025	-.023
	学歴	-.032	.023	.072	.034	.016	-.010	.030	-.027	.023	.037	.009
	職業	-.041	-.004	-.011	.002	-.021	-.033	.000	-.042	.010	.045	.011
	所得	-.004	.040	.035	.048	.093	.061	.045	-.023	.025	.029	-.018
	資産	.027	.066	.070	.071	.112	.116	.081	-.003	.041	.018	-.034
	家柄	.026	.044	.039	.042	.051	.055	.074	.005	.011	.021	-.022
	国籍	-.032	-.032	-.048	-.047	-.050	-.051	-.043	-.057	-.042	-.016	-.040
	居住地域	-.009	.016	-.008	.001	.000	-.005	-.006	-.031	.033	.020	-.045
	出身地域	-.012	.006	-.015	-.009	-.019	-.019	-.007	-.029	.006	.028	-.040
	宗教	-.030	-.023	-.039	-.031	-.032	-.034	-.054	-.059	-.043	-.047	-.066
	不公平感	性別	1.000	.736	.660	.634	.563	.555	.515	.574	.495	.429
年齢		.736	1.000	.693	.679	.611	.594	.524	.517	.495	.410	.354
学歴		.660	.693	1.000	.806	.708	.675	.622	.589	.522	.452	.400
職業		.634	.679	.806	1.000	.785	.740	.654	.608	.565	.462	.402
所得		.563	.611	.708	.785	1.000	.850	.637	.552	.513	.382	.318
資産		.555	.594	.675	.740	.850	1.000	.693	.578	.540	.413	.337
家柄		.515	.524	.622	.654	.637	.693	1.000	.688	.620	.580	.493
国籍		.574	.517	.589	.608	.552	.578	.688	1.000	.666	.613	.602
居住地域		.495	.495	.522	.565	.513	.540	.620	.666	1.000	.741	.562
出身地域		.429	.410	.452	.462	.382	.413	.580	.613	.741	1.000	.693
宗教		.393	.354	.400	.402	.318	.337	.493	.602	.562	.693	1.000



不公平感の規定要因

		性別	年齢	学歴	職業	所得	資産
今回調査	男性ダミー	-.088	-.072	-.034	-.025	-.043	-.009
	年齢	.079	.114	.083	.088	.105	.134
	教育年数	.063	.048	-.017	.005	.014	.047
	個人所得	-.006	-.037	-.025	-.063	-.057	-.037
	不利さ	.028	.119	.069	.007	.100	.134
	adj. R ²	.016	.035	.015	.012	.025	.031
SSM2005 (斎藤2011) ※この他に 職業威信も投入	男性ダミー	-.113	-.069	.035	-.007	.041	.079
	年齢	-.036	.005	-.061	-.050	-.051	-.034
	教育年数	.142	.089	-.025	.066	.050	.059
	個人所得	-.019	-.134	-.094	-.108	-.096	-.071
	adj R ²	.049	.028	.010	.022	.011	.014

		家柄	国籍	居住地域	出身地域	宗教
今回調査	男性ダミー	-.031	-.033	-.032	-.018	-.006
	年齢	.082	.085	.069	.045	.013
	教育年数	.012	.040	.028	.015	.000
	個人所得	-.035	-.029	-.041	-.032	-.024
	不利さ	.081	-.049	.038	.032	-.065
	adj. R ²	.014	.012	.008	.004	.005
SSM2005 (斎藤2011) ※この他に 職業威信も投入	男性ダミー	-.058	-.026			
	年齢	-.119	-.133			
	教育年数	.029	.115			
	個人所得	.005	.092			
	adj R ²	.016	.054			

※ 標準化偏回帰係数

※ 独立変数の網掛けは、それぞれの領域での上位2位

※ 調整済み決定係数の網掛けは、SSM2005との比較で大きい方

「不利さ」の認識が 不公平感に与える影響

1. 階層属性(教育年数や所得)と比較して, 無視できない大きさ
 - 年齢, 資産, 宗教で第1位
 - 所得, 家柄, 国籍, 居住地域, 出身地域で第2位
2. 国籍と宗教においてのみ, 係数がマイナス

議論

1. 階層属性と比較して大きい

- 自己利害(自分の人生における有利さの評価)もそれなりに重要
- 今回の調査では「5」の回答が40～80%程度存在
 - 答えにくい質問の可能性

2. 国籍と宗教による不公平

- 「自分がそれによって不利を被ってきた」と思っている人ほど「日本社会全体ではそのことによる不公平は少ない」と感じている
- これらの不公平が日本社会ではまだリアリティをもって受け止められていないから(?)

文献

- ✓ 海野道郎・斎藤友里子, 1990, 「公平感と満足感——社会評価の構造と社会的地位」原純輔編『現代日本の階層構造2 階層意識の動態』東京大学出版会: 97-123.
- ✓ 織田輝哉・阿部晃士, 2000, 「不公平感はどのように生じるのか——生成メカニズムの解明」海野道郎編『日本の階層システム2 公平感と政治意識』東京大学出版会: 103-25.
- ✓ 斎藤友里子, 2011, 「『より良い社会』をめぐる問い——社会階層と公共性・正義」盛山和夫ほか編『日本の社会階層とそのメカニズム——不平等を問い直す』白桃書房: 225-54.